

< もくじ >	
1. 2016年度定時総会・第15回大会開催日のお知らせ	1
2. 今年度連続講座第6回（最終回）の受講申し込み受付中です	1
3. 第2回研究会合同イベント “丁々発止語り合う会”『コミュニティ学のスズメ』参加申し込み受付中です。	2
4. 研究会からのお知らせ	2～3
5. 各研究会の概要報告	3～4

1. 2016年度定時総会・第15回大会開催日のお知らせ

2016年度定時総会・第15回大会の開催日は、6月5日（日）に決まりました。会場はいつものお茶の水女子大学です。何卒ご予定下さい。当年度は第3期3ヶ年計画の初年度に当たり、今日的課題に取り組みます。基本テーマは、「持続可能な超高齢社会」。そして当年度の大会テーマは、「現代日本の格差と貧困」です。現在プログラムを作成中です。ご期待下さい。

2. 今年度連続講座第6回（最終回）の受講申し込み受付中です

開催日時：2016年2月20日（土） 14時～16時

講演テーマ：「納得の旅立ちのために」

講師：志藤 洋子（国際長寿センター（ILC）事務局長）

（講演要旨）

私たち日本人は、人類史上初めての人生90年、100年時代を経験することになります。30年以上続くことになる老後の生き方は、ただいま試行錯誤中。

老いと折り合いをつけながら、自分らしく十分に生きて寿命を終え、納得して旅立つにはどうしたらよいか、最大のリスクである病を知りうまくつきあうこと、命の長さだけでなく、その質を大切にするためには、発想の大きな転換が求められています

そのような状況をうけて、ILCでは「納得できる旅立ちのために」を作成しました。制作過程における私自身の戸惑いや学びを皆様と共有しながら、「良く生きて、良く逝く」ことを一緒に考えることができれば幸いです。

※既にお送りしましたチラシやホームページもご参照ください。

1) 場 所：東京銀座 資生堂ホール

2) 開催要領：13時30分開場。募集人数は最大45名。（まだ若干名の空席があります）

参加費は、会員2500円、非会員3000円。会場にてお支払いください。

※お申し込みは、①氏名、②参加の講座、③連絡先を明記し、eメール、FAXで事務局まで。

※ご家族やご友人などにもお声掛けをお願いいたします。

（事務局担当 鈴木）

◇連続講座第5回参加者の感想（アンケート回答より抜粋）

第5回講座「あなたらしい葬儀と墓」講師：荒井浩道

- ・感想1 前々から気になっていたことでした。自分の考えを整理するための格好なヒントを頂きました。（60代男性）
- ・感想2 泉瀧寺がもう少し近かったらと思いました。現在ある墓を移動することが可能なのか？どのようにしたらよいのか、いろいろと勉強になりました。（60代女性）

3. 第2回研究会合同イベント“丁々発止語り合う会” 『コミュニティ学のススメ』参加申込み受付中です。

第2回の研究会合同イベントは、濱口研究会が担当です。

「シニア社会のリテラシー研究会」は集大成として、『コミュニティ学のススメ』を上梓しました。社会学の視点から、変貌するコミュニティの現代的意義を問い掛け、コミュニティの現場から実態に即して応答した内容です。（参加者には資料として当著書を配付します）

著者を囲み、参加の皆さまとコミュニティに関わる喫緊の問題を話し合いませんか。多数の方の参加をお待ちしています。

- 1) 日 時：2016年3月26日（土）14：00～16：30
- 2) 場 所：日本労働者協同組合連合会 会議室（東池袋1-44-3 池袋I SPタマビル 8階）
- 3) タイトル：“丁々発止語り合う会”「コミュニティ学のススメ～ところ定まれば、こころ定まる～」
- 4) プログラム：
 - 第1部 14：00～15：10 司会：碓正義さん（当学会員）
 - ①袖井会長挨拶ならびに濱口座長問題提起
 - ②著書『コミュニティ学のススメ』の執筆者4名によるメッセージ
 - ・駒宮淳子さん（当学会員・福島避難者支援活動）
 - ・佐藤敬さん（当学会員・主夫）
 - ・杉山由美子さん（当学会員・フリーランスライター）
 - ・福元公子さん（当学会員・独立型社会福祉士）
 - 第2部 15：20～16：30 司会：安田和紘さん（当学会運営委員）
 - ③各研究会代表者によるコメント
 - ・社会保障研究会 ・「災害と地域社会」研究会 ・シニアのICT 活用研究会
 - ・ガバナンス研究会
 - ④会場参加者との交流
- 5) 参加費：1,000円（資料代、義援金代他を含む）
- 6) 募集人員：50名
- 7) お申込み方法：3月23日（水）までに、お名前、連絡先をeメール、電話、FAXで事務局まで。（50名になり次第、締切りさせていただきます。）
- 8) 問い合わせ：事務局まで（担当：島村）

4. 研究会からのお知らせ

(1) 第30回「シニア社会のリテラシー」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2016年2月18日（木） 15：00～18：00
- 2) 場 所：早稲田大学国際会議場4階第6共同研究室
- 3) テーマ：①『出版』の進捗状況について
②『著書』引取りの対処について
③3月26日（土）研究会合同イベント対応について
- 4) 参加費：300円（島村記）

(2) 第29回「災害と地域社会」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2016年2月25日（木）18：00～20：00
- 2) 場 所：早稲田大学戸山キャンパス33号館第7会議室
- 3) 報告者：松村 治（早稲田大学総合人文科学研究センター 招聘研究員）
- 4) テーマ：「心のケア」から「ウェルビーイングの向上」へー福島からの避難者に対する支援の転換ー

- 5) 参加費：500円（学生は無料、ただし社会人入学者を除く）
※お問い合わせ、参加申込は事務局・福原（fukuhara@jaas.jp）迄お寄せ下さい

(3) 第17回ガバンス研究会開催のお知らせ

- 1) 日時：2016年3月19日（土）16:00～18:00
- 2) 場所：地域サロン「ぷらっと」（JR 武蔵境駅北口徒歩5分）
- 3) テーマ：「7月の参議院選挙を占う」
- 4) テキスト：なし
- 5) 参加費：1コイン
- 6) 申し込み：m_kawa@musashino-u.ac.jp（川村理事）

(4) 第94回 社会保障研究会 開催のお知らせ

- 1) 日時：2016年4月20日（水） 18:00～20:00
- 2) 報告者：福田 明美（日本電気株式会社）
- 3) テーマ：「マイナンバー最新情報」
- 4) 会場：日本労働者協同組合連合会 会議室

東池袋1-44-3 池袋ISPタマビル 8階

※ご質問がございましたら、佐藤まで。090-4436-6853 fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp

3月は研究会合同イベントが開催されますので、社会保障研究会はお休みです。

(5) 「シニアのICT活用研究会」の開催について

*ただいま休会中ですが、4月に再開の予定です。

5. 各研究会の概要報告

(1) 第92回 社会保障研究会の報告

- 1) 日時：2016年1月20日（水） 18:00～20:00
- 2) 場所：日本労働者協同組合連合会会議室（ISPタマビル8階）
- 3) 講師：山崎 ほなみ（有限会社 ワイ・ビー・エス）
- 4) テーマ：「オランダの高齢者ケア」

2015年6月21日～28日までオランダを視察した結果を報告する。九州位の国土に人口1,682万人、高齢化率16%で人口密度は高い。早くから長期医療「介護保険」、短期医療保険、社会支援法で高齢者の医療、介護、家事援助などを実施してきた。サービスは非営利組織NPOが中心で市場主義を導入している。この保険料と国庫補助を財源とし、所得の13.45%を負担している。したがって、「オランダのよさはお金がなくとも用意しなくてもよい」のである。具体例としてケアファームがある。一週間に平均して認知症の人が25人ほど牧場の緑や動物と接し、生きる力を自分で見出すのである。農場でとれた新鮮な食物は薬よりも効果があると考えられている。スタッフが常駐し、送迎、昼食作りはボランティアが行う。専門的な対応は精神科医や地域統括ケア（ビュトソルフ）が行う。看護師中心のビュトソルフは在宅看取りを得意とし、生涯地域で過ごせるように在宅診療、看護、介護を浸透させ、先進国中病院死が35%で最も低いことに寄与している。ハーレム市内には一階に認知症の人が住み、二階に市民が住んでいるグループホームがある。近くの小学校から子どもが音楽の練習にやってきて地域とのコミュニケーションがはかられている。ここでも32時間から36時間のボランティアが活躍している。日本と違って介護の人手不足はないようである。

（山崎ほなみ 記）

(2) 第28回「災害と地域社会」研究会の報告

- 1) 日時：2016年1月27日（水） 18:00～20:00
- 2) 場所：早稲田大学戸山キャンパス33号館第11会議室
- 3) 報告者：小林秀行（東京大学大学院学際情報学府博士課程）
- 4) タイトル：「復興期のコミュニティにおける調整機能の維持戦略—緊急コミュニティ組織に

よる分業構造を視点としてー」

報告者の小林さんの研究は、災害が起きた後の復興過程で当該地域の被災者を中心に立ち上げる「緊急対応組織」の水平的、垂直的展開過程を明らかにすることです。「コミュニティ」は重層的関係をなす地域諸集団の総体と考えられますが、今回は、東日本大震災に対応して、「緊急コミュニティ組織」が立ち上がったとみられる27の事例から、それらの組織を、①組織の特質から、「伝統型ー開放型」、②それらの組織がカバーする地域の広がり観点から「地区ー地域」の2軸に注目して類型化し、それらの緊急コミュニティ組織が相互に復興課題を分業しつつ担うようになる過程をより詳しく見るために、5つの地域に絞って分析しています。時間的経過の中で変化する復興課題を、それぞれの組織がどのように認識し、それらの組織間の利害調整をどのように図って分業体制をつくっていくかについて、比較分析した結果、第1に、いずれの地区においても単独の組織ではなく複数組織による分業が行われた時期が存在していたこと、また各組織は4類型上での位置づけが異なる組織であり、それぞれの組織によって異なる社会層の意見が汲み上げられていたことが分かりました。第2に、水平的分業に関しては、5地区のうち4地区までが最初は伝統型の組織が立ち上がり、そのあとに開放型組織への展開が見られたのが2地区、他の2地区では伝統型組織だけで必要が満たされたようで開放型の組織の立ち上がりは見られませんでした。また、開放型組織から伝統型組織への展開が見られた地区が1地区ありました。第3に、垂直型分業に関しては、5地区のうち地域型組織が最初に立ち上がったのが3地区あり、そのうち地区型の組織へと展開が見られたのが1地区あり、地区型組織が最初に立ち上がったのが2地区あり、そのうち地区型から地域型組織への展開が見られたのが1地区ありました。

しかしながら、分業に一定の展開の方向性が見られるというまでには至りませんでした。分業が起きるか、また起きるとしたらどの方向へ展開するのかという点については、各地区の当初の復興課題と解決方針、組織設立の際に利用した資源、分業を必要とする復興課題の有無、外部からの資源や助言内容、進捗のスピードなどの要因を指摘するに留まったということです。

この報告に対して、全体として大変貴重な研究ではあるが、この研究は最初から全体の統合された社会システムを想定した分析になっているよう思われる。実際にはそのような緊急コミュニティ組織が立ち上がらなかった地域も多いのではないかと、分業という視点から見るとは、地域でのコアになる組織がどのような人びとに支えられ、他の地域のコアな組織とどのように連携していくのかということが重要ではないかという指摘がありました。(長田記)

(3) 第29回「シニア社会のリテラシー」研究会の報告

- 1) 日 時：2016年1月28 日(木) 15:00~18:00
- 2) 場 所：早稲田大学国際会議場4階第6共同研究室
- 3) テーマ：①進捗状況報告と初校原稿のチェック

出版社からの初校が当初予定より大幅に遅れて届いたこともあり、校正を済ませた執筆者とそうではない人とバラツキがあったが、予定通り2月2日(火)出版社に提出することで調整した。

②3月26日(土)研究会合同イベントについて

事務局から配付した動員対策、シナリオ、役割分担についての論議は、時間不足のため、次回に改めて検討し決定することにした。(島村記)

一般社団法人シニア社会学会・事務局(月・水・金オープン)
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階
電話&FAX:(03) 5778-4728
eメール: jaas@circus.ocn.ne.jp URL: <http://www.jaas.jp/>